

地域の素材をいかし、Rebornをコンセプトにした商品開発

地産地消

資源の利用

地域活性化

有限会社 ココカラハッピー

代表者：代表取締役 吉成 恵理子
所在地：徳島県板野郡藍住町徳命字元村134-12
設立：平成15年6月
従業員数：2名
事業内容：印刷物・広告等の企画、制作
オリジナル商品の企画、デザイン、製造及び販売など

○事業・活動の概要

代表の吉成氏は、広告代理店に勤務していた経験をいかし、平成15年にデザイン会社を設立した。平成26年に地元の商工会が主催した講座に参加したことにより、「地域の素材をいかし、『Reborn』をコンセプトにしたオリジナル商品を作る」というアイデアが生まれた。コンセプトである「Reborn」とは、従来使用されず、廃棄されるものをいかして商品化することである。

そのアイデアを元に、徳島県の「創業促進・あったかビジネス支援事業」に事業計画を提出し、認定されたことがきっかけとなって平成27年1月に「ココカラハッピー」を設立した。（平成28年1月にデザイン部門とオリジナル商品部門を合併し、社名を有限会社ココカラハッピーに変更）

○地域の素材をいかしたオリジナル商品の開発

まずは徳島県の木である「やまもも」に着眼し、「やまもも」の葉を茶葉にすることにした。調べてみると葉にはポリフェノールが多く含まれ、ノンカフェインだったため、妊娠中や授乳期の女性にも安心して飲んでいただけたと思い「やまもも葉茶」を商品化した。その「やまもも葉茶」をより広く知ってもらうために作ったのが「やまもも葉茶あめ」である。より手軽に食べてもらえるように、「やまもも葉茶」のペーストを飴に入れ、子どもから妊娠中の女性にも安心して食べてもらえるように、無香料、無着色にこだわっている。

現在は、製品化するために手の掛かる茶葉は製造と販売をしておらず、「Reborn candy series」として、徳島県の特産であるすだちの果皮や、ゆずの皮を使った飴を製造・販売している。

○エシカル消費

エシカル消費という言葉を知ったのは、「エシカル・ラボin徳島」（平成30年3月開催）で使用するお菓子に、「ゆず皮あめ」が採用されることが決まった平成29年12月である。「エシカル・ラボ in 徳島」は徳島県と消費者庁の共催で、徳島県の「お試し発注購入促進実証制度」に「ゆず皮あめ」が採用された。その折に、徳島県の担当者からエシカル消費についての説明を受け、自社で製造している飴のコンセプトである「Reborn」がエシカル消費に当てはまると考え、徳島県が実施している「とくしまエシカル宣言」に賛同し、平成30年1月に「エシカル消費自主宣言」を行った。

「地域の素材をいかす」というコンセプトの下、徳島県の名産であるれんこんやさつまいもを始め、いろいろな野菜や果物で飴を試作してみた。その結果、地元藍住町の特産物でもあるにんじんの規格外のものを使用した「にんじん塩飴」と、徳島県吉野川市美郷の梅酒特区の梅酒に使用した梅を使った「黒糖梅飴」を商品化した。味は好評だったものの、採算が合わなかったため、今は製造を休止しているが、新しい商品を作るために常に試行錯誤し続けていきたいと考えている。

平成30年2月には、真心や、伝えたい大切なものなど「KOKOにある」をテーマにした新シリーズの第1段となる、徳島県木頭地区産の木頭柚子を使った「塩ゆずあんこあめ」を商品化した。

○今後の活動

今後は、デザイン会社の強みをいかして、イベント等のノベルティ商品や挨拶代わりに使えるメッセージ性のある商品や、別注文でお客さまのニーズに答えたオリジナルデザインのパッケージを作成するなど、パッケージにこだわった商品展開も行っていきたいと考えている。

飴という誰もが気軽に手にできる商品を通じて、その素材の由来から、徳島県や徳島県内の地域を知ってもらい、徳島から「ハッピー」を届けたいという強い思いが社名にも込められている。



公表日：平成30年8月17日 取材：平成30年6月

外部リンク：<https://www.kokokarahappyinc.com/>